

かや たかゆきの ほうれんそう

愛川町議会議員

第14号



議会の報告

後援会の連絡

皆さんからの相談

脱炭素社会に向けた取り組みを考えよう！

ごみの廃棄や削減に対する問題は、これからの未来にとって大切なことであり「つくる責任 つかう責任」として、これら脱炭素社会の実現に向け、町民一人ひとりの意識を高めていく取り組みが重要です。そこで、町の未来のためにも自然環境に配慮したごみの問題やフードロスの問題など、より一層取り組む必要があり一般質問しました。

フードドライブの今後の取り組みに向けて！

・フードドライブとは、賞味期限の迫った食べ物を個人や企業から集めることです。その集まった食べ物は愛川町社会福祉協議会が運営している「フードバンクあいかわ」に寄付されて生活困窮の方々へ配られます。そしてフードバンク等から食べ物等を仕分けして生活困窮者の方々へ配る事業を行っているのがフードパントリーと言います。



実際にフードパントリーぶどうの木さんで仕分けされた食べ物です。

私の考えた要望は、フードドライブとして沢山の企業・町民と連携してフードロスを行うために、食べ物を回収できるボックスを役場の受付やスーパーに設置し、より多くの食べ物をバンクやパントリーに集め、生活困窮者やひとり親家庭に届けられる事や高齢等でバンクまで受け取りに行けない方々へ食べ物をお届けする仕組み作りを要望しました。

水平リサイクルの今後の取組みに向けて！

・水平リサイクルとは、ペットボトルを固形燃料や衣類などにリサイクルして最終的にゴミになってしまうリサイクルではなく、ペットボトルからペットボトルにすることで、資源を無駄にすることなく同じプラスチック材料で循環して使えるリサイクル(ボトルtoボトル)です。

今回の提案は、水平リサイクルの更なる推進を図るために、ボトルtoボトル専用のペットボトル回収機を多くの公共施設やスーパーなどに設置をして「資源を大切にしている町」の実現に向けて要望をしました。

また、更なるステップとしてアルミ缶の水平リサイクルへの取組みや、脱炭素社会に向けた給水スタンドの設置やマイボトルの推進など、資源を大切にしている取組みについても要望しました。



実際にコンビニエンスストアに設置されている回収ボックス

政策や要望が実現しました！

健やか応援記念品の実現！

これから国民が年間1000円納税する森林環境譲与税を町財源として、1歳を迎える幼児に知恵玩具として、愛川町の土で育った檜(間伐材)で使った知恵玩具(積み木)を記念品で渡します。同じ愛川の土で育った木を使うことで、自然を大切にする「木育」の観点から、暖かく子ども達を育てたい想いで昨年度に提案し、本年度に実現しました。積み木は家や動物などの形にできるので発想力などが豊かになると思います。



イメージです

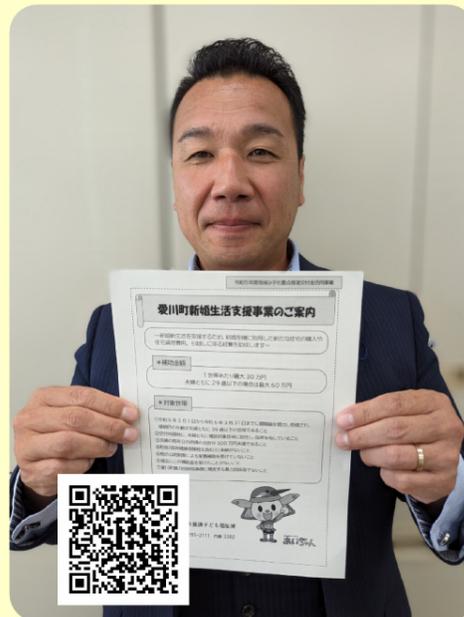
新婚新生活応援制度の拡充！

私が選挙に出馬する時の公約で、結婚をして愛川町で暮らすときに応援する給付金制度の拡充を掲げました。

令和5年度から今まで30万円の給付金が倍額の最大60万円まで拡充されました。

これから愛川町を担う生産年齢人口の増加は町の活性化に繋がるので、今後も人口増加に向けて取り組みます。

詳しくはQRコードからご覧ください



かや たかゆきの活動報告 3月～5月



全国町村議員会館にて議会広報誌である議会だよりの研修を受けました



鳥獣問題を学ぶために大山丹沢山系鳥獣等問題の研修会に参加しました



県立愛川高等学校のOB同窓会の副会長となりました



二井坂区の青少年指導員として、子ども110番の家の更新のお願いに回りました

NPO法人ラ・グレーヌの相談役になりました！

愛川町の高齢者の方で、使わなくなってしまった畑でもう一度農業をしてもらい、作られた野菜をラ・グレーヌが袋詰めなどをして、移動販売車で買い物困窮地域に出向き、野菜を販売する「農業を通じたまちづくり活動」を行っています。高齢者の方々には野菜を作るやりがいを持ってもらい、そして身体を動かすことで健康を維持できることを考えた素晴らしい活動です。その作られた野菜は買い物に行けない困窮地域に新鮮なまま移動販売車で出向いてお届けするので「作る人の健康・遊休農地の利活用・買い物困窮者の救済」と全てにおいて良い事なので、応援をするためにNPO法人ラ・グレーヌの相談役として活動を行っています。そして、愛川町の土に触れてもらうためにジャガイモ掘りを通じて子ども達にも「食育」を行っています。



高野橋代表と共に畑作業している方に広報と農業をしている方の紹介してもらう活動をしています



←移動販売車で買い物困窮地域に出向いて新鮮な野菜を販売しています。

NPO法人ラグレーヌの活動内容の → PRチラシの配布を行い、新規農業者を紹介してもらっています。



タウンニュースさんで高野橋代表が紹介されました

愛川町内で畑作業している人に活動内容を知ってもらい、対象になる方をご紹介して頂いています。現在、契約農家や収穫ボランティアを募集しています。ご興味のある方は代表の高野橋までご連絡頂ければと思います。高野橋 070-6407-5456

町民の皆さまからの声を町に届けます

中津川沿いにある若宮グラウンドはソフトボールの試合や練習で沢山の方々が利用しています。今回は利用している方々からの声で、フェンス脇にある木が成長しすぎてプレーするグラウンド内まで生い茂ってきたので切って欲しいとの事でした。都市施設課の職員さんが人力で十数本を数日かけて切断して頂きました。都市施設課の職員さん、ありがとうございました。



3月議会の一般質問を閲覧頂けます！

「生産年齢人口の流出を防ぐ新しい交通網の整備」というテーマで行った一般質問を録画でご覧頂けます。QRコードからご覧ください。

40分ほどです



編集後記

コロナも第5類となり、様々な活動が動き始めてきました。総会や会合などでは久しぶりにお会いできる方がいて嬉しく思います。そんな中で、広報誌を通じて「頑張ってるね」等の声を頂くと嬉しく思います。私は議員となり数カ月でコロナ過となりました。やっと通常の政治活動が出来るので、これからも沢山のまちづくり活動をして、町民の皆さまに情報を発信していきたいと思ひます。

次号の新聞折込は9月1日金曜日を予定しています。